

600

生活編



610 農業者年金

611 農業者が
利用できる
年金制度

農業者が利用できる年金制度

1. 農業者年金制度

農業者が利用できる年金制度のひとつに農業者年金がある。農業者年金は会社員のような厚生年金による国民年金への上乗せがない農業者のために、老後の生活不安を解消するための制度として1970年(昭和45年)に農業者年金基本法が成立、1971年(昭和46年)から事業が開始された。その後、2001年(平成13年)に抜本的な制度改革を行い2002年(平成14年)から運用を開始し、2019年度(令和元年度)末の加入者は累計12万7千人(前年比102.2%)となっている。

(1) 農業者年金の特徴

① 農業者年金のポイント

- ア. 農業者なら広く加入できる。
- イ. 積立方式・確定拠出型。
- ウ. 保険料は範囲内で自由に選択できる。
- エ. 終身年金(80歳前死亡は一時金支払い)。
- オ. 税制面で優遇措置あり。
- カ. 保険料の国庫補助あり(必要要件あり)。

② 農業者年金のメリット

- ア. 夫婦別々の加入も可。家族経営協定を締結し一定要件を満たすと国庫補助あり。
- イ. 若年層に対する保険料の国庫補助あり。
- ウ. 積立運用益は非課税。
- エ. 支払保険料は家族分を含め社会保険料控除対象となる。

(2) 今後改正される項目

今後、農業者年金制度は以下の項目が改正される(2002年度(平成14年度)以降の新制度が対象)。

① 若年層の保険料引き下げ(2022年(令和4年)1月1日～)

⇒ 35歳未満で一定要件を満たす場合、納付下限額を2万円から1万円に引き下げる。

② 年金受給開始時期の選択肢を拡大(2022年(令和4年)4月1日～)

⇒ 1957年(昭和32年)4月2日以降生まれ対象。

老齢年金と特例付加年金で改正内容が異なる。

年金加入可能年齢の引き上げ(2023年(令和5年)5月1日～)

⇒ 農業従事(年60日以上)の60歳未満第1号被保険者(他要件あり)は65歳迄加入可。

※今後も制度内容の変更が見込まれる。

農業者年金の詳細については農業者年金基金ホームページにて

<https://www.nounen.go.jp>



2. iDeCo/イデコ(個人型確定拠出年金制度)

前述した農業者年金は“税制優遇を受けながら老後資金を自ら積み立てる制度”だが、よく似た制度に iDeCo/イデコ(個人型確定拠出年金制度)がある。

iDeCo/イデコの特徴

- (1) 積立方式・確定拠出型。
- (2) 自ら金融商品を選び、その成果が受取金額になる。
- (3) 掛金は範囲内で自由に選択。
- (4) 積立は 60 歳迄、受給開始は 60~70 歳で選択。
- (5) 加入には所定の手数料がかかる。
- (6) 年金は一時金、年金、併用から選択して受給。
- (7) 拠出時、運用中、受給時の各段階で税制優遇あり。

※今後、制度内容の変更もあり得る。

iDeCo/イデコの詳細については iDeCo 公式サイトにて

<https://www.ideco-koushiki.jp/>

3. どの年金制度に加入するか、特徴をよく理解し選択しよう

農業者が加入できる年金制度は前述した農業者年金と iDeCo/イデコの他に国民年金基金もある。

国民年金基金の詳細については国民年金基金ホームページにて

<https://www.npfa.or.jp/>

これら3つの年金制度は税制優遇を受けながら老後資金を自ら積み立てるという仕組みは同じだが、それぞれ違う特徴もある(表)。

また、農業者年金は iDeCo や国民年金基金と同時加入できないし、iDeCo と国民年金基金は同時加入が可能だが、掛金合計に上限があるなどの制約もある。

どの年金制度に加入するか、それぞれの特徴を理解したうえで検討することをお勧めする。また、制度の内容は度々変更されるので、最新の情報を確認するように願います。

表 各年金制度の主な特徴の違い

(2021年8月現在)

	農業者年金	iDeCo/イデコ	国民年金基金
運用方法	基金が運用(元本保証) ・農業者年金と国民年金基金は元本保証の安定運用だがiDeCoほど運用成果は見込めない。 ・iDeCoは元本保証型より大きな運用成果も期待できるが元本割れリスクもある。	本人が金融商品を選択し運用	基金が運用(元本保証)
受給方法	保証期間付終身年金 ・農業者年金と国民年金基金は終身年金が魅力。 ・iDeCoは一時金や併用が選択できるなど柔軟さが魅力。	一時金、年金、併用が選択可	終身年金と受給期間付を併用
国庫補助	有り ・農業者年金のみ国庫補助(=月額2万円に満たない掛金に対し国が援助する制度)がある。 ・月額2万円以上積み立てる場合、国庫補助は必要ない。	無し	無し

※今後、内容変更があり得る。最新情報はそれぞれのHPIにて。